

3年 社会 (週4時間)

担当：小池 (歴史分野 <1学期・2学期前半>・公民分野 <2学期後半・3学期>)

1 教科の到達目標 (学習のねらい、身に付けたい力)

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 年間学習計画と単元(題材) 4月～9月〈歴史的分野〉 9月～3月〈公民的分野〉

月	題材名・単元名	学習内容	達成目標(ねらい)
4 5	近代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新と立憲国家への歩み ・激動する東アジアと日清・日露戦争 ・第一次世界大戦 ・大正デモクラシー 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新の経緯の理解をふまえ、日本の近代化を日露戦争、条約改正を通して理解する。 ・第一次世界大戦および第二次世界大戦それぞれの背景、影響と2つの大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解し、国際協調と平和の実現に努めることが大切であることに気付く。
5 6 7	二度の世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦 ・戦後の日本と世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・敗戦から現在の日本が立ち直っていく姿、高度経済成長や冷戦とその終結、世界の多極化の様子について時間経過を理解し説明することができる。
9	現代社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特徴 ・私たちの生活と文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料から現代社会の特色や文化の意義を読み取り、現代社会をとらえる力を身に付ける。
9 10	個人の尊重と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権と日本国憲法 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の基本原理を具体的な生活との関わりを通して理解し、様々な人権についての知識を身に付ける。基本的人権についての問題を多角的に考察することができる。
10 11	現代の民主政治と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・国の政治のしくみ ・地方の政治と自治 	<ul style="list-style-type: none"> ・国会・内閣・裁判所の仕事内容に興味を持ち、三権の関係を理解することができる。 ・議会制民主主義や住民自治の意義を考え、主権者としての政治参加のあり方を考察することができる。
11 12	私たちの暮らしと経済	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしと経済 ・生産と労働、価格と金融 ・政府の役割と国民の福祉 ・これからの経済と社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動を身近な消費生活を通して理解させる。また経済の事象をとらえる見方や考え方の基礎を身に付ける。
12 1	地球社会と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会と世界平和 ・国際問題とわたしたち 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際問題に関心をもち、国際社会における日本の役割やあり方を考えさせることができる。
1 2	《3分野総合》3年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・地理、歴史、公民 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習内容全体を復習する。都立入試の傾向と対策を、問題演習しながら身に付ける。
2 3	よりよい社会を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ・国際問題の理解と平和の実現に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界平和や福祉のため、自分に何ができ、どうすればよいかを、他人の意見も聞いて参考にして考えをまとめることができる。

3 評価方法

観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 資料を活用して社会的事象を読み取ることができる。 グラフや年表・文章資料を活用した問題が解ける。 ノートのメモ欄に授業中、教師が話した内容のメモが取れている（内容次第で加算する）。 社会的事象について理解し、言葉の意味を正しく理解している。また、基本的な用語についての知識があり、その用語を正しく利用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物（ノート・ワーク・プリント） 定期試験 小テスト等の課題 レポート作成
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な事象・授業の内容について、問題意識をもって考え、表現することができている（自分なりの考え方・疑問・感想を、用語等の正しい情報を根拠として、文章にしてノート内、解答用紙に表現する）。 定期試験やワークなどの記述問題で、適切に、指定された用語等を用いて表現できる。 テーマに沿ったレポートを作成できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物（授業を振り返って、自分なりの考えが、用語等を使った根拠を持った文章となってノートなどに記載されている。） 定期試験 レポート作成・発表
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会にみられる課題を解決し、よりよい社会の実現のための視点を持ちながら、単元ごとに考えられる課題を主体的に追究している。 単元の初めに単元の問いに対する答えの予想を立てたり、解決すべき疑問を挙げたりしている。 学習を振り返ったり、見出した問いについてワークシートやノートへの記述がみられたりしている。 作成したレポートを簡潔に分かりやすく発表できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子を観察 道具の準備 提出物(期日・内容) ワークシートやノートの内容(予想・疑問等の記述) レポート発表

4 授業の取り組みについてのアドバイス

- 板書は学習したことの記録です。丁寧にはっきりとした字でノートに書き写しましょう。
- 授業中に話をしたこと、黒板に書いた先生のメモなどから、授業の板書内容をメモ欄に補足し、自分の理解を更に深めましょう。他の人に教えるつもりでまとめることが、理解を深める助けとなるでしょう。
- わからないことをそのままにしないで、休み時間や放課後を利用し積極的に質問しましょう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- 宿題・提出物について…宿題はやらねばならない課題です。教科書を見て構わないので、丁寧に調べて取り組みましょう。普段から漢字を使う努力をしましょう。
- 復習について…授業が行われたその日にやります。必ずその日のうちに教科書やノートを読み直しましょう。NHK for School の動画等を見るのも良いです。また、ノートに自分の考えや自分なりの疑問を書きましょう。その授業時間に使った用語等で考え方や疑問の根拠が表せるとなお良いです。

6 定期テスト前の取り組みについてのアドバイス

- 歴史や公民は「流れ（時代によって変化してきたこと、その時代のポイント）」があります。教科書、もしくはノートやメモを何度も読み直し、基本的な流れを理解しましょう。
- その後、ワーク・問題集を繰り返し、解きましょう。ワークを試験前日などの提出間際になって、解答を見ながら埋めていくことは学習ではなく作業です。覚えられるはずもなく、全くやらない(いわゆるノーマル)よりは良いのですが、直前では時間のムダです。その単元・内容を授業でやった日に問題集に一度取り組みましょう。そして、試験前にチェックシートなどを上手に用いて繰り返し学習するようにしましょう。
- 漢字で覚えるべき用語は、口に出して読みながら何回も書くなど、五感をフル活用して覚えましょう。

7 入試に向けての取り組みのアドバイス

- ・授業の中で、色チョークで書いた内容、板書本体以外に補足として時間をとり黒板にメモしている内容は、理解をうながすための重要な内容です。日々の授業を大切にしましょう。過去に良い結果を出した先輩達も、例外なく授業に熱心に取り組んでいました。
- ・入学試験では3年生の学習内容だけではありません。むしろ1・2年生の学習内容（地理・歴史）が多く出題されます（都立入試の場合は70%以上、さらに言えば地理的分野の内容<統計表・グラフの出題>が多くなってきています）。夏休みが終わるまでに1・2年生の復習を一通り行いましょう。学校で配布する『3年間の総仕上げ問題集（新規に購入した問題集）』の問題を解きましょう。新しい問題集を自分で購入するのは、それらの問題集をすべてやり切ってからにしましょう。
- ・教科書はすぐれた参考書です。また、これまでのノートやプリントも上手に活用すれば学習内容の復習につながります。